

ふる郷
 拓ける 未来は 汗だす 人に
 第30回 愛鏡祭

主催 ふる郷愛鏡祭実行委員会と八代市

☆かがみ食フェスティバル「鏡うまかもん大集合!!」

☆第4回漬物名人コンテスト

☆参加型イベント

「畳投げ大会」「大漁ミニ網入れ体験」「野点

「魚のつかみ取り大会」「伝承遊び」「いも掘り体験」

「ジョギングフェスティバル」など

☆手裏剣戦隊ニンニンジャーショー（観覧無料）

☆郷土芸能披露

☆フリーマーケット、企業PRコーナー、特産品展示販売、
特産品が当たる抽選会など

5月24日(日)

9:00 オープニング演奏 9:30 開会

鏡支所、
鏡文化センター周辺

問合せ 「ふる郷愛鏡祭実行委員会」事務局
(鏡支所地域振興課内) ☎52-1111



松浜軒／松井文庫の至宝

花苜蒲鑑賞茶会と肥後古流

肥後苜蒲しゅうぶで知られる名園・松浜軒は、毎年六月の第一日曜日、「花苜蒲鑑賞茶会」で賑わいます。

茶会を主催するのは「肥後古流松華会」。古流の歴史は、千利休の縁戚・古市宗庵ふるいちむねあんが細川家の茶道方として迎えられたことにはじまります。利休の茶を正しく継承することを自負し、その点前は「武家点前」「男点前」と評されます。

昭和36年に始まった花苜蒲鑑賞茶会は、当時肥後古流の茶を熱心に学んでおられた松井綾子夫人の肝煎りきまじりで、松井家伝来の茶道具を惜しみなく使って行なわれました。初代康之が利休の弟子だったこともあり、これらの茶道具は「わび茶」の真髄を伝えるものばかり。全国の茶人や好事家が羨む茶会でした。

その後、松井家の茶道具は一般財団法人松井文庫の管理となり、かつて茶室を彩った道具は松井文庫展示室で拝観できます。近年、評価は益々高まり、全国の美術館・博物館から出品のオファーが相次いでいます。八代にある「日本の宝」をお見逃しなく。

■展示案内
(博物館学芸員 石原浩)

企画展 「松井家の茶道具」
「酒器と重箱」

とき 開催中～6月末日
午前9時～午後5時
(入園4時30分まで)

閉園日 毎週月曜

観覧料 一般300円
小中学生150円

問合せ 松浜軒／松井文庫
☎330171



黒染茶碗 楽家十代旦入作（19世紀） 松井文庫所蔵
楽茶碗は、利休が提唱した「わび」の精神を形にあらわしたものの。